

みなとつぷ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2019年7月
Vol.39

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとつぷ編集室



<http://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



仙洞仮御所前に植えられた薔薇「プリンセス・ミチコ」



CONTENTS

2 地域で活躍する若者

白金小学校5年 瀧下 大輝さん

2 子育て施設の紹介

あっぴい白金台

3 この街にこの人あり

加藤 順介 さん
(株式会社小糸製作所顧問)



4 5 地域のあしあと

白金北里通り

6 7 地域を象徴する景観

泉岳寺・瑞聖寺

8 区からのお知らせ

上皇陛下ご夫妻をお迎えして

昭和34(1959)年、当時高校生であった私は皇太子・美智子妃ご成婚パレードの時、一目お姿を見ようと沿道にいました。馬車に乗られ、手を振る二人のお姿は情熱と気品にあふれていました。今でもしっかりと目に焼きついています。わたしがパレードを見にいったのは、ご自身の意思で美智子妃を選ばれた皇太子殿下(今の上皇陛下)の勇気を応援したい気持ちからでした。皇室の中の一つの改革であったのかも知れません。多くの国民は同様な気持ちでご成婚を祝福したと思います。

象徴天皇は何をするべきかという難しい課題に対して、上皇陛下ご夫妻が自ら回答を出され行動されました。「平和への願い」、「国民に寄り添う」と言う言葉はご自身の率直なお気持ちから発せられ、その言葉が国民に与えた影響は計り知れません。

平成という時代は決して光輝く時代ではなかったです。景気も低迷しており、災害も多かったです。しかし、上皇陛下ご夫妻は災害があれば被災地に訪れ、被災者を励まされたことが、国民の心の支えになっていました。

上皇陛下ご夫妻が仙洞仮御所として、この高輪の地にしばらくお住まいになられることが決まった時、地域の方々の張り切りようは、大変なものでした。「どうしよう」、「なにをしよう」という気持ちばかりが先行していました。

上皇陛下ご夫妻を温かくお迎えしようとする気持ちから、地域に対する愛着心が高まり、地域コミュニティの活性化に繋がれば、それで十分よいのではないかと私は思います。

上皇陛下ご夫妻、十二分に象徴天皇としての役割を果たされたと、多くの国民は感じています。これまでのお務めに心より感謝申し上げます。この歴史ある高輪の地で静かに過ごされ、たまにはぶらりと近くを散歩されることを願っています。

(担当/安藤)

地域で活躍する 若者

《 第64回 青少年読書感想文全国コンクール サントリー奨励賞 受賞 》

— 白金小学校5年(受賞時 小学4年) 瀧下大輝くん「ぼくとみんなの通学路」 —

青少年読書感想文全国コンクールで、港区代表が東京都代表に選ばれるのは初めてで、しかも全国コンクールで受賞するのは初めてのことです。

受賞を知った時はどのように思いましたか？

「よっしゃー!と思った。担任の先生やクラスメートが拍手して祝福してくれて嬉しかった。

この本を選んだ理由は、ノンフィクションで世界のこと書かれているから。これからも世界のこと書かれている本を読みたい。日本だけでなく世界に目を向けていきたい。」と、目を輝かせて語ってくれました。



『普通』であることの幸せ、『あたりまえ』となっている環境に感謝したい

「毎日朝起きて、ごはんを食べて、元気に登校できて、楽しい友達ややさしい先生と過ごせる毎日が、どれだけ幸せなことなのかということに気がついた。これからも、そんな一見『普通』『あたりまえ』に思っていることに感謝していきたいです。」

という言葉で作文は締めくくられている。大人でも忘れがちなことに気づいて文を推敲していくところは、小学4年生の作文とは思えない感動があり、全国コンクールに相応しい内容でした。

これからどのような作文を書きたいですか？

「ハッピーエンドの本が好きなので、作文も読んでくれる人が、心が軽く前向きになれるような文を書きたい。」

とてもしっかりしていて、かつ素直で明るく、ハキハキとお返事してくれました。

将来の夢は？

「昔からずっと官房長官になりたいと思っています。でも、最近は小児外科医もいいなと思っています。最近小児外科で出会った先生がとても尊敬できる先生だったのと、小さい子どもが好きなのと、手先がとても器用だと皆から言われるところが活かせるのではないかと思ったことがキッカケです。

作文やテニスも好きだけど、趣味と仕事とは違うので、職業としては一生をかけて努力できることを目指します。」

お母様に子育ての秘訣をお聞きしてみました。

「小学校に上がる前まで、寝る前に必ず本の読み聞かせをしていました。小学校に上がってからは自分で読むようにさせました。本を読むことで様々な体験ができますので、たくさん本を読ませたいと思っておりました。」

大輝くんにお父様とお母様のことを聞いてみました。

「母は病気の時もそうだったけど、ぼくがくじけそうになった時にはいつも背中をおして励ましてくれる心強い存在です。父はぼくや家族にはもちろん、周りの人達にもいつも優しい存在。」

課題図書

「すごいね!みんなの通学路<世界に生きる子どもたち>」
ローズマリー・マカーニー文、西田佳子訳(2017年、西村書店)



武井区長と(平成31年2月)

(担当/弘川、平尾、利光、安藤)

子育て施設の紹介

あっぴい白金台

「あっぴい白金台」とは

「あっぴい白金台」は、平成30(2018)年4月にオープンし、港区白金台4-6-2「ゆかしの杜」1階にあります。「子育てひろば」と「一時預かり」を備えた施設です。



子育てひろば

お子さんだけでなく、ママやパパ同士が交流し、仲間づくりに活用でき、子育てに関する悩み相談をすることができます。講習会やイベントなどへの参加を通じて、子育てに関する情報を得られます。

乳幼児一時預かり

一時預かりを利用することができます。(0歳4ヶ月～小学校就学前のお子さん対象)

実際に利用されているママにお話を伺いました。

①1歳の女の子のママ

子どもと家にも子どもが飽きてきてしまうので、ほぼ毎日夕方来て、エネルギーを発散させています。キレイな場所で子どもが遊べるだけでなく、施設のスタッフさんが相談にも乗ってくれるのがありがたいです。

②11ヶ月の女の子のママ

港区のHPで知りました。家から近くて、子育ての悩み相談ができるのでよく利用しています。一時預かりも利用しています。

子どもを連れて気軽に来てママたちと話せること、お互いに子どもの成長を喜び合えることが嬉しいです。

③お二人がおっしゃっていたこと

預かりの予約が1ヶ月前からで、すぐいっぱいになるので、急に預けたいときは難しいです。枠がもう少し増えるといいと思います。

施設長の川勝桂子さん

利用されているのは近隣の方が多く、病院の待ち時間やお買い物帰りに立ち寄られたり、お友だちと一緒に来室されます。週末になるとパパのご利用も多く、パパ同士での交流も盛んです。

あっぴいに来てスタッフや、ご利用のママたちと育児の不安や喜びを分かち合ったり、育児相談をしに来られる方もいらっしゃいます。

またひろばには、食事コーナーや授乳スペースもあり、ゆっくりとお過ごし頂けます。

一時預かりもご利用頂けます。ママのリフレッシュにご活用下さい。



●利用時間

・子育てひろば 10:00-18:00
港区在住のおおむね3歳までのお子様と保護者
・乳幼児一時預かり 8:30-18:30(5時間迄)
0歳4ヶ月から小学校就学前までのお子様

●一時預かりの利用料金

月曜日～土曜日 500円/1時間
日曜日、祝日 600円/1時間
1日20名程度

(0歳児さん6名、それ以上14名程度)

●電話番号

03-6450-4249
03-6450-4327(FAX)

●施設HPのURL

<https://www.lifesupport.co.jp/facility/appy-shirokanedai/>



〒108-0071

東京都港区白金台4-6-2 ゆかしの杜1階
東京メトロ南北線、都営地下鉄三田線
白金台駅 出口2より 徒歩1分(南エントランス)

(担当/利光、平尾、安藤)

この街にこの人あり

株式会社小糸製作所顧問

加藤 順介さん

座右の銘は「先ず獣身を成して後に人心を養え」です

加藤さんは高輪にずっとお住まいだったんですね。戦前の高輪の様子はどうでしたか

祖父の代から高輪に住んでいます。母が書いた本（「向こう一軒両隣りそれに続いて」）によれば、両親が結婚した時、高輪3丁目（白金猿町）のこの場所に家を建て、私はここで生まれました。私の家は、その当時、北白川宮邸の前のたった一軒の家でした。宮様の特別な外出時には家に国旗をたてること、正装で宮様の送迎をするようにとの指示が高輪警察署からありました。我が家の東側の2階の窓は宮邸を覗かぬよう、曇りガラスで開かずのものでした。宮邸の前に住むということは大変な時代だったのですね。

高校時代・大学時代の思い出は

高校2年生の人文地理の夏休みの宿題で、高輪地区の地理と歴史を調べました。将来、自分がここにずっと住み、働くことを考え、地域のことを

もつとよく知ろうと思ったからです。写真、地図などを入れた40ページの冊子にまとめました。「高輪」の由来は「高縄手」が変化したとのことです。

高校、大学では柔道部で柔道に打ち込んでいました。スポーツは好きですし、スポーツを通してよい友人に恵まれました。後の総理大臣になった橋本龍太郎君や歌手の加山雄三君とも同期でした。橋本龍太郎君は剣道部で活躍していました。

加藤さんと小糸製作所との関わりは

大学卒業と同時に、創業者小糸源六郎（祖父）が社長である小糸電機株式会社（現在の小糸製作所）に入社しました。昭和60（1985）年代表取締役就任し、現在も顧問として在籍し、60年近く関わっています。

小糸製作所で特筆すべき出来事は、米国人投資家ブーン・ピケンズの当社の株乗っ取り事件です。当時副社長だった私は、その対応に追われていま

した。バブル全盛期の平成元（1989）年3月、ブーン・ピケンズは当社の20・2%に当たる株の名義書き換えを申請し、様々な揺さぶりをかけてきました。

マスクにも大きく取り上げられ、私もその対応に追われていました。日米構造協議という日本と米国との政治問題にも発展し、ピケンズはさらに買い増しを進め、一時は株主数が減少し、上場基準に不適合になり、上場廃止の危機になりました。

得意先、仕入先、従業員、知人などに当社株を持ってもらい、多くの皆様の支援により、何とか危機を乗り越えることができました。

小糸製作所はどのような会社ですか

大正4（1915）年の創業で100年以上の歴史があります。2018年度の連結売上高は8,260億円強、事業内容は自動車用照明器、航空機部品、電子機器等の製造販売です。現在の当社は品川駅前前の柘榴坂の途中にあり、ここは以前、創業者小糸源六郎の自宅があった場所です。国内の主力工場は静岡県内にあり、また海外では北米、南米、欧州、中国、アジア各国に工場事業所があります。

加藤さんご自身として、また企業としてどのような地域活動をされていますか

私は、高輪消防署の下の高輪消防懇話会の会長を24年間（1992年～2016年）務めました。私は日本の

消防団に深い関心を持っています。消防団は、火災が起これば仕事を放り出して自分の故郷を守ります。その活動精神は世界に誇る究極のボランティアです。

企業として、高輪消防署並びに高輪警察署に10年に1度、車各1台を寄贈しています。また、品川駅周辺クリーンアップキャンペーン活動に参加しています。

加藤さんの座右の銘は何ですか

福澤諭吉の「先ず獣身を成して後に人心を養え」という言葉です。まず、人間は獣のような強靱な身体をつくれ、それから人としての心をつくれということ。私自身この言葉通り、高校・大学時代を通して柔道で連日激しい稽古により、身体を鍛えるとともに、学業に励みました。

企業にも同じことが言えます。ものづくりには、効率的に秀れた製品を生み出す設備（ハードウェア）が必要です。同時に、それを使いこなすノウハウ（ソフトウェア）も大切です。ものづくりの基本はハードウェア、ソフトウェアのバランスがうまく噛みあうことが理想です。

ご趣味は

スポーツは何でも好きで、柔道（講道館六段）、モータースポーツ、ゴルフ、野球、水泳などを楽しんできました。特に柔道は50歳くらいまでやっておりました。



全国公募書道展で佳作入選（平成30年春）

最近、書道に興味を持ち平成29（2017）年～平成31（2019）年国立新美術館での全国公募書道展に出展し3年連続佳作入選しました。

若者に送る言葉を教えてください

常に問題意識を持って目標を立てていただきたい。ただ勉強するだけではなく、視野を広く、問題意識を持って物事を見ていくことです。時間軸も短期的のみではなく、中長期的な目標を持つてください。そしてグローバル時代に対応し国際感覚を身につけて下さい。今、AIとかITの進歩が著しく、情報化時代の次の世代の仕事が始まろうとしています。時代の流れに乗り遅れないようにしてほしいと思います。

取材を終えて

多才でどんなことにも集中力を高めて取り組む姿勢に、感動しました。また、高輪という地域に、深い愛着心を持たれています。こんな方が地域を支えていることに感謝したいです。

（担当／安藤、松島、伊関、弘川）



【プロフィール】 加藤 順介（かとう じゅんすけ）

1937年生まれ。81歳。

1960年慶應義塾大学法学部卒業。小糸電機株式会社（現株式会社小糸製作所）入社。

1985年同社代表取締役副社長、1997年代表取締役社長、2003年代表取締役会長（2009年会長退任）

現在、慶應義塾評議員、一般社団法人慶応倶楽部評議員、一般財団法人交詢社評議員

2002年藍綬褒章受章、消防総監賞4回受賞

あしあと

の「道」

その3

新宿王子線)

国道1号桜田通りと交差 終点:恵比寿3丁目交差点

良き東京の面影を残しつつ、モダンな雰囲気を持ちます!

三、北里
設けた
祠に合

三郎記念館

★佐藤栄次郎商店
(金物・3月営業開始予定)★稲岡商店(文具)
文 白金の丘学園
白金の丘小・中学校

北里大学・北里研究所病院

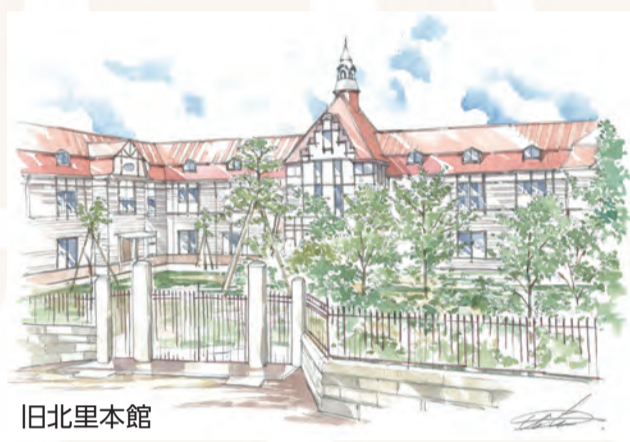
現在、白金5丁目に建つ北里研究所病院の起点は、1893(明治26)年、日本の細菌学の父と呼ばれる北里柴三郎博士によって開設された日本初の結核専門病院「土筆ヶ岡養生園」にさかのぼる。

1914(大正3)年、土筆ヶ岡養生園の一角に北里研究所を設立。1917(大正6)年には北里研究所附属病院が開院された。1945(昭和20)年の戦災においてほとんどの病院施設は焼失したが、その後の再建、病棟増築を行い、2008(平成20)年の学校法人北里研究所への統合を経て、現在は北里大学の附属病院として発展している。

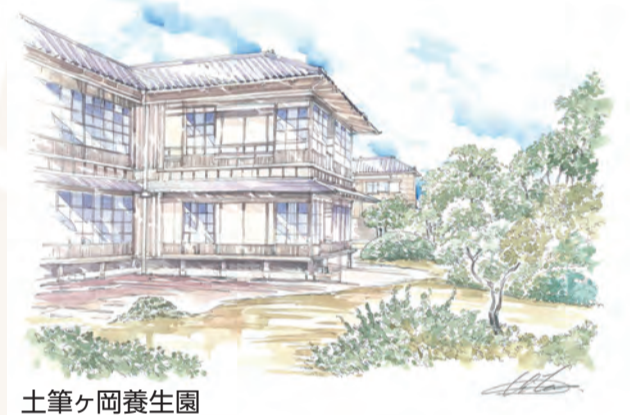
2019(令和元)年5月には、工期に5年を費やした薬学部校舎等の建替新築工事が完了し、キャンパスがリニューアルされた。

北里本館
(プラチナタワー)

北里研究所病院



旧北里本館



土筆ヶ岡養生園

ノーベル賞受賞の大村博士を祝う振る舞い酒

2015(平成27)年、大村智・北里大学特別荣誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されたことは地元区民として喜びと共にいまだに耳に新しい。

ノーベル賞の授賞式が2015(平成27)年12月10日にストックホルムで行われた。この偉業をたたえ、地元白金北里通り商店会では同日午後6時から無料でお酒が提供された。「祝ノーベル賞受賞」と焼き印が押された記念の升で、振る舞われたのは古い町名の「白金三光町」の名がつく日本酒だった。同商店会では、白金北里通りに記念フラッグを掲げるなどお祝いムードで盛り上がりを見せていたという。



2015年白金北里通り商店会振舞

→ 至 氷川神社

氷川神社

社伝によると、白鳳年間(645年～710年)創建。日本武尊が東征の折、この地に滞在し、「武蔵一宮氷川神社」(大宮氷川神社)を遥拝したことから、当地に氷川神社を創建したという伝承が残っている。この創建年代が確かであれば、港区内で最古の神社ということになる。江戸時代から、白金一帯の鎮守として崇敬を集めている。



沿革

白金は、港区の中で南部に位置し、明治通りを北限に、南は東京メトロ南北線までカバーする。山手線の内側でありながら、どの駅からも遠かった為、かつての東京のイメージが残っている。地形によって、住工混在地域と高級住宅地とが明確に区分されており、東京の都市構造の典型と言える。古川沿いの地域は、大正から昭和初期にかけ、芝浦周辺の大工場の下請けが密集した工場地帯だった。庶民的な部分もあり、おしゃれな部分もありといった多様性は、むしろ再開発され、均一化した街よりも、面白さを感じさせてくれるかもしれない。

【白金の歴史】

応永年間に、南朝の国司であった、柳下上総介やぎしたかづさのすけという豪族が、この辺りを開墾し、白金村ができたことから始まる。彼は大量の銀(しろかね)を持っていたことから、白金長者と呼ばれ、それが町名の起源となる。自然教育園は白金長者の邸跡である。江戸時代文政年間の記録によると、上総介の後裔は柳下重太夫と称して白金の名主であって、以降代々名主を勤めていた。

地域の

高輪地区

●白金北里通り(東京都道305号芝浦)

港区と北区を結ぶ都道の一部 起点:白金1丁目交差点

この通りには百年を超える商店も数軒あり、古きお店もできていて、白金は密かな!人気を呼んでいる

コッホ・北里神社

明治43(1910)年、北里博士がドイツに留学した際の恩師、コッホ博士が病没した。訃報を受けた北里博士がコッホの遺髪をご神体として祠を建て、恩師を偲んだといわれる。その後、1931(昭和6)年博士が没すると門下生一同により、コッホ祠の隣に北里祠を建て、1945(昭和20)年3月の東京大空襲で焼失。後にコッホ祠を再建し、コッホ・北里神社と呼ぶようになった。



首都高速

←至 恵比寿

高輪消防署三光出張所

星野屋酒店

コダカリビング(寝具)

アキラガーデン三越湯
地元で今に残る唯一の銭湯
(株)三福電機(3F)

白金三光町交番

北里柴三郎記念館

北里通り風物詩の阿波踊り(毎年7月)



阿南市役所連(ささゆり連)とコラボして白金にわか連登場!!

大久保だんご

川越屋豆腐店

佐藤邦明青果店

伊勢屋(ガラス・サッシ)

こく い せん よう

国威宣揚の石柱

三越湯の門前脇に「国威宣揚」の石柱がある。戦前に建てられ、国旗掲揚台として使われたといわれる。表面には「三光協和會 昭和十二年十一月三日建之」と刻まれている。



いかずち

雷神社(雷神山児童遊園内)

平安時代に疫病が流行り、それを鎮める為に雷神を祀った神社を建てたことから、雷神山と呼ばれるようになった。

境内跡は、桜の名所で多くの区民の憩いの場所となっている。



北里柴三郎記念館

北里研究所/北里大学プラチナタワーに隣接し、表通りに面したところに北里柴三郎記念館がある。その1階に併設された展示室は北里博士の偉業を顕彰し、その理念を伝えるべく1964(昭和39)年に遺品を整理・展示したのが始まり。今回、北里博士の肖像が新しい千円札に採用されることが発表され、その影響もあって入場者が増えている。1997(平成9)年に一般公開されてから見学者総数は8万人近くに達している。

★ 70年以上続いているお店

地域を象徴する 景観

泉岳寺

萬松山泉岳寺は慶長17(1612)年徳川家康が今川義元の菩提を弔うために外桜田に創立、寛永18(1641)年高輪に移転し再建されました。

曹洞宗の寺院で江戸三ヶ寺の一つで、赤穂浅野家の江戸の菩提寺でもあり、忠臣蔵の四十七義士の墓所として知られています。忠臣蔵の話はハリウッド映画などでも取り上げられ、訪れる外国人も多く、高輪を象徴する景観の一つです。

平成26(2014)年に再建された書院(非公開)と庭園(非公開)を特別に見せていただけることになったのでご紹介します。



山門

中門・山門
元は、三門と云って三つの門(総門・中門・山門)があったが、現在は中門と山門のみが残されている。
現在の中門は天保7(1836)年に再建され、昭和7(1932)年大修理が施されている。
山門は天保3(1832)年に再建されたもので、二階建てで堂々とした風格がある建物である。
二階部分には十



山門と松

六羅漢が安置され、一階部分の天井には「江戸三龍」のひとつ、銅彫大蟠龍がはめ込まれている。
本堂を背にして山門の前にある斜めに立っている松の木は、四十七義士が討入りからあると言われている。中門と山門は港区登録文化財となっている。



本堂

はじめ、浅野内匠頭、夫人の瑠泉院、四十七義士の位牌が安置されている。
本堂では毎月、坐禅会などが開催されている。

本堂
旧本堂は第二次世界大戦で空襲にあい消失。現本堂は昭和28(1953)年に落成した鎌倉様式の建築である。
ご本尊は釈迦如来、また大石内蔵助の守り本尊である摩利支天(秘仏)などが納められている。
本堂裏手の開山堂には檀家をはじめ、浅野内匠頭、夫人の瑠泉院、四十七義士の位牌が安置されている。

書院

書院は、住職が来客に面会する正式な場所であり、裏には庭園がある。

ここは、元禄当時義士たちが吉良邸討ち入りの後に集まって休息した建物で、戦災(昭和20(1945)年5月)で焼失したままになっていった。それが開創400年記念事業として、書院の復興が決まり、平成26(2014)年再建が実現された。
この書院は伝統的な工法を用いて作られ、様々な工夫も考慮されている。

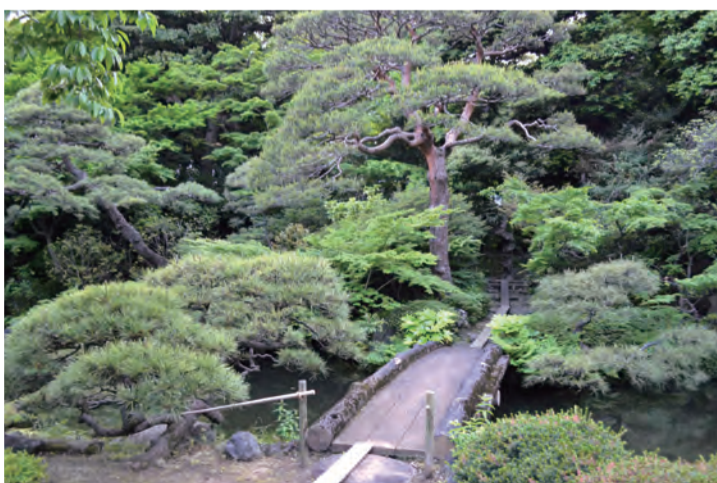


書院(非公開)

庭園

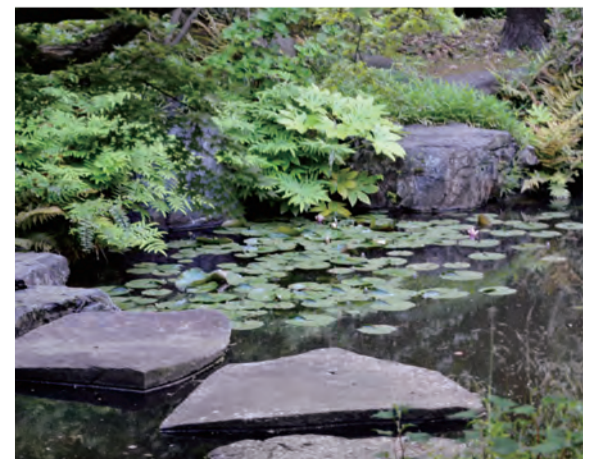
泉岳寺の庭は、うつそうとした木々の緑が美しく、まわりに石と低木を配した大きな池があり、都心の寺の庭とはとても思えない美しい庭であった。大きなしだれ桜や、池の蓮、沢山の紅葉の木がそれぞれの季節を彩っている。

この美しい空間がいつまでも残り、市民と近しい高輪を代表するお寺であり続けて欲しいと改めて感じた。



開山堂と庭園(非公開)

庭園池と橋(非公開)



睡蓮のある庭園の池(非公開)



瑞聖寺及び中庭の水盤とプラットフォーム



しだれ梅がある中庭

建物の主要構造は鉄骨であるが、外壁や垂木などに無垢の木材をふんだんに使い、軒を深くして垂木を強調し、伝統的な日本の美を

大雄宝殿の軸線の南側には、一辺が開かれたコの字型の庫裡・寺務所とその回廊空間が作られている。隈研吾氏による現代的なデザインであるが、歴史ある建造物である大雄宝殿と巧みに調和が図られている。建物の高さを低くおさえ、主役である大雄宝殿を引き立てる役割を果たしている。

建物の主要構造は鉄骨であるが、外壁や垂木などに無垢の木材をふんだんに使い、軒を深くして垂木を強調し、伝統的な日本の美を表現している。よく見ると、建物は非対照で、左右の屋根も長さが違い、動きが感じられるデザインとなっている。屋根材はフランス製のものを利用し、光があまり反射しないで、落ち着いた質感になるよう工夫されている。



庫裡、寺務所、中庭、大雄宝殿を上から見る

大雄宝殿と庫裡をつなぐ回廊の屋根はやや上向きの角度になっており、水盤の波のきらめきが屋根に映し出されている。池に接して、しだれ梅が一本植えられている。しだれ梅は背が高くならないので、庫裡から見る大雄宝殿の姿を隠さないようにしてある。また梅の花が水に映ることや花びらが水に落ちることも計算している。

紫雲山瑞聖寺は江戸で最初の黄檗宗の寺院で、寛文11(1671)年創建された歴史ある寺院です。

江戸最初の七福神巡りとされる元祖山手七福神の一つ、布袋尊像があります。

この歴史ある瑞聖寺が平成30(2018)年、隈研吾建築都市設計事務所の設計により、瑞聖寺庫裡、寺務所、中庭が再建・整備され、その景観が一変しました。白金台の象徴となる景観の一つとして、ご紹介します。

瑞聖寺



大雄宝殿に吊るされた木魚

床は四半敷瓦敷きで左右に畳床を置くこと、組物を簡略化して角柱を用いること、丸窓を多用することなども特徴といえる。江戸に残された数少ない本格的な仏堂建築とし



建物の配置

黄檗宗は、江戸時代になって現在の中国から渡ってきたもので、月台と呼ばれるテラス状の張り出しや、開檜(外に吊るされた木魚)、正面中央の桃の彫刻がついた腰扉など、それまでの日本の寺院建築とは異なる中国の様式を伝える意匠が目を引く。他にも、二重屋根で、正面と背面に外廊のような吹出し部分を設けること、内部の

瑞聖寺大雄宝殿

大雄宝殿は、一般的寺院の本堂に当たる。

黄檗宗は、江戸時代になって現在の中国から渡ってきたもので、

瑞聖寺庫裡・寺務所

大雄宝殿および通用門1棟は昭和59(1984)年東京都指定有形文化財に指定され、平成4(1992)年に国の重要文化財に指定されている。



庫裡の垂木と壁のリブが無垢の木材で仕上げている

中庭

地域に開かれた寺院になるようつくられた中庭は四角形の浅い水盤がある。その中央には、水に浮くようにプラットフォームが設けられている。プラットフォームの位置も中心からずらして配置されている。大雄宝殿、庫裡、寺務所の姿が水盤に映されるよう仕掛けられている。建物と水盤やガラスの壁に映る建物の姿が一体となって、不思議な空間を演出する。



区からのお知らせ

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085

港区まちづくり条例を活用したまちづくりの仕組みのご紹介

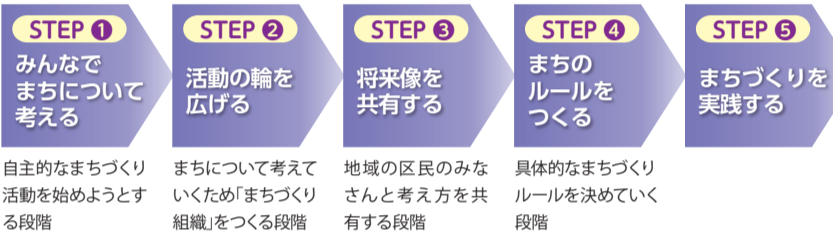
港区では、地域の課題は地域で解決し、地域の発意と合意に基づくまちづくりを推進するため、地域主体のまちづくり活動を支援しています。

現在、高輪地区内で組織登録されているまちづくり組織は右図のとおり4団体あります。(平成31年4月1日時点)

興味のある方は、各地区総合支所まちづくり課まちづくり係までお問合せください。



まちづくり制度の手順



【問合せ先】高輪地区総合支所まちづくり課まちづくり係 TEL: 03-5421-7664

高輪コミュニティぷらざ エレベーター工事のお知らせ

現在、高輪コミュニティぷらざでは、館内エレベーターの更新工事を行っています。

4月～12月上旬(予定)で館内の2台のエレベーターを1台ずつ更新し、1月から地下鉄連絡用のエレベーターを更新します。工事期間中に、やむを得ず館内エレベーターが2台とも停止する日があります。停止日時については、エレベーターか店内や館内に掲示するほか、区のホームページでお知らせしますので、来館の際はご注意ください。

工事期間中は、ご不便をおかけいたしますが、施設・設備リフレッシュへのご理解とご協力をお願いします。

【問合せ先】高輪地区総合支所管理課 TEL:03-5421-7124

～交流都市 熊本のご紹介～

加藤清正(肥後熊本藩初代藩主)にゆかりのある覚林寺が高輪地区にあることから、熊本市と港区の交流が始まりました。その熊本市では今秋、ラグビーW杯、女子ハンドボール世界選手権大会が開催されます。また熊本地震で傷ついた熊本城の特別公開が始まります。この機会に熊本を訪れてみてはいかがでしょうか。



2019女子ハンドボール世界選手権大会

【熊本城特別公開】2019年10月5日～(原則、日曜・祝日)
【ラグビーW杯熊本開催日】2019年10月6日、10月13日
【女子ハンドボール世界選手権大会開催日】2019年11月30日～12月15日

令和の商品券「和らぎ」販売のお知らせ

港区
プレミアム付
商品券

今年10月に予定されている消費税率の引上げに伴う住民税非課税世帯や子育て世帯への影響を緩和するため、令和の商品券「和らぎ」(港区プレミアム付商品券)の販売を行います。

対象者	住民税非課税の方	3歳未満のお子さんのいる世帯の世帯主
	2019年度分の住民税(均等割)が課税されていない方。 区民税が課税されている人の扶養親族等は対象外です。	2016年4月2日～2019年9月30日までに生まれた子がいる世帯。 ※お子さんの人数分商品券を購入できます。

- 対象の方1人あたり、額面2.5万円分の商品券を、2万円で購入できます。商品券は5回に分けて購入することもできます。(1回あたり、5千円分の商品券を4千円で購入できます。)
- 商品券利用期間および店舗
令和元年10月1日(火)～令和2年3月31日(火) 区内約1,500店舗で、利用可能予定。
- 対象者の方には8月以降お知らせをお送りします。詳しくはそのお知らせをご覧ください。

商品券に乗じた振り込め詐欺や個人情報の詐取にご注意ください。

【問合せ】みなとコール TEL:03-5472-3710
【担当課】産業振興課プレミアム付商品券発行事業担当

登記所備付地図作成作業についてお知らせ

東京法務局では、現地と一致する精度の高い地図を作成します。作業実施地区の土地所有者様には、土地の境界確認の立会いにご理解とご協力をお願いします。

作業実施地区

高輪一丁目の一部

作業期間

令和元年9月から令和3年3月まで

所有者説明会

令和元年9月上旬に開催予定
詳細が決定次第、土地所有者様に案内書を送付いたします。

●詳細については、
東京法務局ホームページをご覧ください。
<http://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/>
【問合せ先】
東京法務局不動産登記部門 地図整備室
TEL:03-5213-1414 (直通)



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1555号)」

本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとつづき バックナンバー

編集だより

▼宮内庁からお借りした上皇陛下ご夫妻の写真素晴らしいです！編集員一同、各ページの記事・写真も表紙の写真に負けないようがんばりました。(安藤)

▼商店街が元気だと、街全体に活気が出てきます。白金北里通り商店街の努力に脱帽です！(伊関)

▼泉岳寺のお庭を初めて拝見しました。大きな木々に囲まれ、風情ある池が配置され、素晴らしいお庭に感動です。いつの日か、年に数日でもいいので、公開していただけたらと思います。(滝川)

▼住み慣れたこの地域により関心が高まりました。高輪地区の素晴らしいところ、素晴らしい方との出会いにひとつひとつ感謝し、大切にしていきたいです。(利光)

▼泉岳寺と北里研究所の取材に同行しましたが、どちらも歴史があり、興味深い内容がたくさんあり、楽しい取材でした。(平尾)

▼日本経済の発展を担われてこられた港区在住の方の迫力あるお話を学び、未来の日本で活躍する若者の話に感動して、取材に携わらせて頂ける事への感謝が湧いてまいりました。(弘川)

▼みなとつづき編集に初めて関わらせて頂き、これまで知らなかった地域のことを知る機会を得て、何気なく見ていた景色が違って見えるように感じました。生まれ育った高輪地区にこれから少しずつでも貢献していきたいと思えます。(堀江)

▼近所のお友達から「瑞聖寺」さんが再建・整備されたという情報を得て、取材させていただきました。これからも皆様からの情報、お待ちしております。(松島)

▼長年住んでいるにも関わらず、瑞聖寺の境内を訪れたのは初めてでした。地域の新旧どちらの話題もまだまだ知らないことが多く、学びながら活動のお手伝いをさせていただきたいと思えます。(矢野)

▼今回の取材では、千円札の肖像になる北里柴三郎博士の功績の偉大さに触れ、北里研究所設立に支援を惜しまなかった福沢諭吉の存在の大きさにも改めて気づかされました。(吉田)

区民編集メンバー

- 安藤洋一(チーフ) 滝川まりえ 弘川智子
- 吉田由紀子(サブチーフ) 利光明日香 堀江朱音
- 伊関則子 長門伸光 松島佐紀子
- 黒瀬尚美 平尾恭一 矢野奈緒子

※この情報は、区が公募し応募のあった区民と、区との協働でつくられています。